

早稲田大学 大学院法学研究科
2026 年度 修士課程入学試験問題（社会人入試）
【小論文】

社会人研究課題

「知的財産紛争と法」

以下の3問のうち、1問を選択して解答しなさい。

1. 特許法の下における、いわゆる機能的クレームの解釈について、一般的な特許クレームの解釈手法との関係にも触れつつ、説明しなさい。
2. 映画の著作物の著作権は、日本の著作権法上、誰に帰属するかという問題について、要件と効果を明らかにした上で、これをめぐる議論について、できるだけ詳しく論じなさい。
3. 結合商標に係る商標の類否判断の考え方について、主要な裁判例に触れつつ、説明しなさい。

答案の書き方（ ☐ 横書 / ☐ 縦書 ） 六法全書の使用を（ ☐ 認める / ☐ 認めない ）